

## やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム設置要領

### 【ポイント】

就職氷河期世代への支援は、「経済財政運営と改革の基本方針 2019」（令和元年 6 月 21 日閣議決定）において、就職氷河期世代の活躍促進に向けて 3 年間の集中的な支援に取り組む方針が打ち出されました。さらに、「経済財政運営と改革の基本方針 2022」（令和 4 年 6 月 7 日閣議決定）において、令和 4 年度までの 3 年間の集中取組期間を「第一ステージ」と捉え、令和 5 年度からの 2 年間の「第二ステージ」と位置付け、これまでの施策の効果も検証の上、効果的・効率的な支援に取り組み、成果を積み上げる旨の方針が定められました。

この方針に向けた施策の具体化を図るため、「就職氷河期世代支援の推進に関する新行動計画 2023」（令和 4 年 12 月 27 日付け就職氷河期世代支援の推進に関する関係府省会議決定。以下「行動計画」という。）が策定され、行動計画における基本的考え方等を踏まえ、令和 4 年度までの「第一ステージ」に続き、令和 5 年度からの「第二ステージ」においても「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」を設置するため、要領の改正をおこなうものです。



## やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム設置要領

### 1 趣旨

「就職氷河期世代支援に関する新行動計画 20232019」（令和4年12月27日就職氷河期世代支援の推進に関する関係府省庁会議決定。）及び「厚生労働省就職氷河期世代活躍支援プラン」における基本的考え方等を踏まえに基づき、山口県内の関係機関や団体を構成員とし、県内の就職氷河期世代の支援に社会全体で取り組む気運を醸成するとともに、活躍支援策のとりまとめ、進捗管理等を統括する「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」（以下「やまぐちPF」という。）を、令和4年度までの「第一ステージ」に続き、令和5年度からの「第二ステージ」においても設置する。

### 2 構成員

やまぐちPFの構成員については、行政機関、経済団体、労働団体等の別紙1の機関を構成員とする。

また、必要に応じて、就職氷河期世代の方の支援に取り組んでいる企業や団体等を、オブザーバーとして、参加させることができる。

### 3 各構成員の役割

上記2の構成員の役割は、下記のとおりとする。

#### （1）行政側

##### ① 山口労働局（訓練室）

- ・やまぐちPFとりまとめ事務局（主担当）
- ・事業実施計画の策定とりまとめ、事業の進捗管理（主担当）
- ・管内市町のプラットフォーム（以下「市町PF」という）との連絡調整
- ・各種支援策の周知広報

##### ② 山口県（商工労働部労働政策課）

- ・やまぐちPFとりまとめ事務局（副担当）
- ・事業実施計画の策定とりまとめ、事業の進捗管理（副担当）
- ・市町PFとの連絡調整
- ・各種支援策の周知広報

##### ③ 山口県（健康福祉部健康増進課）

- ・市町PFとの連絡調整

- ・ 社会参加に向けた支援を必要とする者のニーズの把握
- ・ 市町ＰＦと連携しての先進的な取組に係る事例の把握と展開
- ・ 各種支援策の周知広報
- ④ 就労支援機関（ハローワーク、山口しごとセンター）
  - ・ 専門窓口・専門チームによる就職支援
  - ・ 企業説明会・面接会の開催や職場実習・体験機会の確保
  - ・ 企業に対する処遇改善の働きかけ、専門求人の確保
  - ・ 各種支援策の周知広報
  - ・ やまぐちＰＦとりまとめ事務局への政策提案
- ⑤ 中国経済産業局
  - ・ やまぐちＰＦとりまとめ事務局への政策提案
  - ・ 各種支援策の周知広報
- ⑥ 山口県市長会、山口県町村会
  - ・ 各種支援策の周知広報
- (2) 経済団体、労働団体等
  - ・ 企業に対する、就職氷河期世代を対象とした求人募集、積極的な採用、企業説明会・面接会への参画や職場実習・体験機会の確保の働きかけ
  - ・ 企業に対する人材育成の充実や正規雇用化を含む処遇改善の働きかけ
  - ・ 就職氷河期世代の就労や社会参加に向けた相談支援
  - ・ イベントや会報等での各種支援策等の周知広報
  - ・ やまぐちＰＦとりまとめ事務局への政策提案
- (3) 支援機関（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構山口支部、山口県社会福祉協議会）
  - ・ 公的職業訓練（ハロートレーニング）の充実
  - ・ 社会参加に向けた支援を必要とする者への支援の充実
  - ・ 各種支援策の周知広報
  - ・ やまぐちＰＦとりまとめ事務局への政策提案

#### 4 やまぐちＰＦにおける取組事項

やまぐちＰＦにおいては、次に掲げる事項について協議を行い、各構成員における取組を促進することとする。

- (1) 気運醸成と各種支援策の周知広報

就職氷河期世代の支援に社会全体で取り組む気運を醸成し、各界が一体となって、積極的な採用、正規雇用化を含む処遇改善や社会参加への支援に結びつくような環境整備を図る。

また、就職氷河期世代本人やそのご家族等に対し、各構成員が有する様々なルートを通じて各種支援策の周知広報を図る。

## (2) 支援対象者の把握

地域ごとに支援の対象となる以下の3種類の者に係る支援ニーズを把握する。

- ① 不安定な就労状態にある者
- ② 長期にわたり無業の状態にある者
- ③ 社会参加に向けた支援を必要とする者(ひきこもりの方や生活困窮の方など)

## (3) 目標、KPI(重要業績評価指数)の設定及び事業実施計画の策定

- ① 山口県におけるKPIについては、適切なものを検討の上設定する。
- ② KPIを達成するために、事業実施計画を策定する。
- ③ 計画に基づく実施事業の進捗管理を行う。

## (4) 市町との連携

市町PFの事務局と連絡調整を図り、以下の事項に係る市町PFとの情報共有と広域的課題の対応を行う。

- ・福祉から受け入れ先の開拓、雇用にあたって必要な配慮等、県レベル経済団体への対応依頼
- ・経済団体、他の市町村等とのつながり作りの支援
- ・市町PFの好事例の周知等

## 5 会議の開催

上記4に掲げる事項の協議を行うために、年2回を目安に会議を開催することとするが、この他必要に応じて開催することもできるものとする。

## 6 秘密の保持

PFの構成員及び協議の場に参加した者は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

## (附則)

この要領は、令和2年8月28日から施行する。

令和3年5月20日 一部改正。

令和4年2月16日 一部改正

令和5年〇月〇日 一部改正

## やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム構成員

区分	構成員 (機関・団体名)
経済団体	山口県経営者協会
	山口経済同友会
	山口県商工会議所連合会
	山口県商工会連合会
	山口県中小企業団体中央会
労働団体	日本労働組合総連合会 山口県連合会
支援機関	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 山口支部
	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
市 町	山口県市長会
	山口県町村会
行 政	経済産業省 中国経済産業局 地域経済部 産業人材政策課
	山口労働局
	山口県商工労働部
	山口県健康福祉部





## やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラン

### 【ポイント】

「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム設置要領」の改正及び令和4年度までの3年間の集中取組期間を「第一ステージ」と捉え、令和5年度からの2年間の「第二ステージ」と位置づけ、取組を推進するため、プランの改訂をおこなうものです。

### 【KPIの見直しポイント】

原則、3年間KPIに「第一ステージ」実績を加味し、5年間KPIとして目標の見直しを行うこととしました。

なお、「サポステの支援により就職等につながった件数」については、3年間KPI達成率が非常に低く、「第一ステージ」の実績から5年間継続して取り組んだとしても3年間KPIの目標が達成できないことが見込まれることから、サポステの目標新規登録者数や目標就職率から5年間KPIを設定することとしています。



# やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラン

令和2年8月

令和5年〇月改訂

やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム



## 目次

1. 趣旨	1
2. やまぐち支援プランの計画期間及び進捗管理	2
3. 支援対象者	2
4. 山口県の現状と支援の方向性	3
5. 目標、KPI及び取組	4
(1)不安定な就労状態にある方	4
(2)長期にわたり無業の状態にある方	6
(3)社会参加に向けた支援を必要とする方	8
(4)全支援対象者共通の取組	10
6. やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォームと 市町プラットフォームとの連携	10
7. 地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業の実施	10



## 1. 趣旨

バブル崩壊後の雇用環境が厳しい時期(概ね 1993 年(平成5年)~2004 年(平成 16 年)に就職活動を行った、いわゆる「就職氷河期世代」は、現在、30 代半ばから 40 代後半(令和2年4月1日現在、大卒で概ね 38 歳~49 歳、高卒で概ね 34 歳~45 歳)に至っている。その中には、希望する就職ができず、新卒一括採用をはじめとした流動性に乏しい雇用慣行が続いてきたこともあり、現在も、不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業の状態にある、社会参加に向けて支援を必要とする状態にあるなど、様々な課題に直面している方がいる。また、こうした課題に直面している方々の多くは、概して能力開発機会が少なく、企業に評価される職務経歴も積めていない、就職活動の度重なる失敗により自分に自信が持てない、現状維持が精一杯で今後の展望を抱けない、正社員を諦めているなど、就職活動に当たって様々な課題を抱えている。

こうした状況を踏まえ、就職氷河期世代への支援は喫緊の課題であることから、政府は、「経済財政運営と改革の基本方針 2019」(令和元年6月 21 日閣議決定)において就職氷河期世代の活躍促進に向けて3年間の集中的な支援に取り組む方針が打ち出された。さらに「経済財政運営と改革の基本方針 2022」(令和4年6月7日閣議決定)において、令和4年度までの3年間の集中取組機関を「第一ステージ」と捉え、令和5年からの2年間を「第二ステージ」と位置づけ、これまでの施策の効果も検証の上、効果的・効率的な支援を実施し、成果を積み上げる旨の方針が定められた。

この方針に向けた施策の具体化を図るため、「就職氷河期世代支援の推進に関する新行動計画 2023」(令和4年 12 月 27 日付け就職氷河期世代支援の推進に関する関係府省会議決定。以下「行動計画」という。)が策定されているところである。

「就職氷河期世代支援プログラム」を定めるとともに、当該プログラムを着実に実行するため、関係府省会議において「就職氷河期世代支援に関する行動計画 2019」(令和元年 12 月 23 日決定。以下「行動計画 2019」という。)が取りまとめられた。

また、厚生労働省においても、厚生労働大臣を本部長とする「2040 年を展望した社会保障・働き方改革本部」において、「厚生労働省就職氷河期世代活躍支援プラン」(令和元年5月 29 日決定。以下「支援プラン」という。)を策定し、就職氷河期世代が抱える固有の課題や今後の人材ニーズを踏まえつつ、個々人の状況に応じた支援により、正規雇用化をはじめとして、同世代の活躍の場を更に広げられるよう、3年間で集中的に取り組むこととされた。

山口県においては、行動計画 2019 及び支援プランに基づき、県内の関係機関(経済団体、労働団体、支援機関、市町、行政)を構成員とし、県内の就職氷河期世代の活躍支援策をとりまとめ、進捗管理等を統括する「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」を構築し、関係機関と連携して支援策を推進する。

フォーム」(以下「やまぐちPF」という。)を令和4年度までの「第一ステージ」に続き、令和5年度からの「第二ステージ」においても設置する。令和2年8月28日に設置した。

また、やまぐちPFにおいて「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラン」(以下「やまぐち支援プラン」という。)を策定し、就職氷河期世代の方々が活躍の場を更に広げるために、県内の社会気運を醸成し、好事例の横展開を図りつつ、各界が一体となって、やまぐち支援プランに基づく各取組を継続的に推進していくこととする。

## 2. やまぐち支援プランの計画期間及び進捗管理

やまぐち支援プランの計画期間は、令和2年8月28日～令和7年3月31日までとする。

やまぐち支援プランの着実かつ効果的な推進を図るため、個々の取組や進捗状況をやまぐちPF事務局にて把握するとともに、取組の進捗を踏まえた今後の施策展開の方向性等を協議するため、毎年度やまぐちPF設置要領の5に規定する会議を開催し、内容を公表する。なお、その進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画内容を見直すこともあり得る。

## 3. 支援対象者

やまぐち支援プランにおいては、次の①～③に掲げる方々を支援対象者とする。支援に当たっては、就労を希望される方には正社員化及び正社員就職の実現を目指すものであるが、個々人の希望や意欲・能力に応じた雇用形態や待遇の実現及び社会参加へ向けた支援が図られることや、①～③の類型にかかわらず各支援機関が連携して取り組むことが重要である点に留意する必要がある。

### ①不安定な就労状態にある方

- ・正規雇用を希望しながら非正規雇用で働いている方
- ・前職が非正規雇用で、正規雇用を希望する失業中の方など

### ②長期にわたり無業の状態にある方

- ・無業で家事も通学もしていない方のうち、就職などに向けた取組への意欲が認められる方など

### ③社会参加に向けた支援を必要とする方(ひきこもりの方や生活困窮の方など)

- ・ひきこもりの状態にある方、生活困窮に陥っている方など、就労支援だけでなく、保健医療や福祉的な支援を必要としている方



#### 4. 山口県の現状と支援の方向性

総務省の「就業構造基本統計調査(2017年)」を基にした推計<sup>1</sup>によると、山口県内における支援対象者の現状については、①不安定な就労状態にある方 3,700人、②長期にわたり無業の状態にある方 3,399人と推計している。③社会参加に向けた支援を必要とする方については、支援対象者個人ごとに抱える事情や状態が異なり、必ずしもただちに就労に向かうことが本人にとって望ましいとは限らず、就労支援の対象として数量的にとらえることにそもそもなじまないことから推計対象としていないが、今後、やまぐち支援プランの期間内で支援対象者のニーズを明らかにしていくこととする。

これらの方々の当面の目標は、働くことや社会参加など多様であり、また生活の基盤を置く地域の実情も多様であることから、個々人の状況に応じた支援メニューを積極的に届けていかなければならない。そのためには、当事者やその家族の置かれている状況やニーズをしっかりと受け止めるという姿勢を社会全体に浸透させるよう取り組んでいくことが不可欠である。

支援対象者である「不安定な就労状態にある方」、「長期にわたり無業の状態にある方」、「社会参加に向けた支援を必要とする方(ひきこもりの方や生活困窮の方など)」は明確に区分できない場合も想定され、その状態も時とともに変化していくものであることから、当事者とその家族を中心とした柔軟な支援を行うためには、関係機関が連携して、多様で複合的な課題やニーズに対応する必要がある。

これらを踏まえ、就労や処遇の改善、社会参加を促す中で、必要な人に必要な支援が届く体制を構築することなどに、やまぐちPFのみならず、他の関係機関とも連携して取り組んでいくこととする。

---

<sup>1</sup> 資料出所：総務省「就業構造基本統計調査(2017年)」

JILPT「若年者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状③」

・「不安定な就労状態にある方」：現在非正規雇用で働いており「現職の雇用形態についている理由」について「主に正規の職員・従業員の仕事がないから」と答えた者

・「長期にわたり無業の状態にある方」：無業者のうち求職活動をしていない者で、卒業者かつ通学していず、配偶者なしで家事を行っていない者。就業構造基本統計調査の公表値ではないため、JILPTが特別集計したデータを利用している。

## 5. 目標、KPI<sup>2</sup>及び取組

### (1) 不安定な就労状態にある方

#### 【目標】

正規雇用を希望していながら不安定な就労状態にある方について現状よりも良い処遇を目指すため、支援対象者の正規雇用者数を 2,040 人<sup>3</sup>(第一ステージ)、4,000 人(第二ステージまでの累計)増やすことを目標とする。

#### 【KPI】

項目	KPI
ハローワーク紹介による正社員就職件数	3,745 <del>1,800</del> 件
キャリアアップ助成金活用による正社員転換数	1,376 <del>700</del> 人
山口しごとセンター利用者における就職決定数	808 <del>514</del> 人

#### 【取組】

##### (相談体制の充実)

ハローワーク宇部に「キャリアアップ応援コーナー(就職氷河期世代専門窓口)」を設置し、専門担当者で構成するチームによる個別支援によるマッチングの促進及び職場定着を図る。

##### 【山口労働局】

専用窓口を設置しないハローワーク相談窓口にて、相談者が就職氷河期世代対象者であるか判断を行い、対象者に関しては助成金をはじめとする積極的な支援に対応できる体制を組み、多様なニーズにあわせた就職支援を行う。

##### 【山口労働局】

国と県の業務を一体的に実施する「山口しごとセンター」において、専任のキャリアカウンセラーによるキャリアカウンセリングから就職支援サイト等による情報提供、職業紹介、就職後のフォローアップまでのサービスをワンストップで提供する。

##### 【山口労働局、山口県】

<sup>2</sup> KPI： 重要業績評価指標 (Key Performance Indicator) の略。目標の進捗を把握するための指標。

<sup>3</sup> 2,040 人： 総務省「就業構造基本統計調査 (2017 年)」等より  
「不安定な就労状態にある方」山口県 3,700 人 / 全国 541,700 人 × 100 ÷ 0.68%  
30 万人 (国の目標) × 0.68% = 2,040 人 (山口県の 3 年間の目標)

(職業訓練の実施・強化、スキルアップ支援)

「就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業」の支援対象者個々人のニーズに応じた情報提供、アドバイス及びあっせんを行う。

【山口労働局】

離職者、求職者、在職者それぞれのニーズに対応し、安定就労に有効な職業能力等の習得を目指す公的職業訓練(ハロートレーニング)の実施等によるスキルアップや新たなキャリアへの挑戦を支援する。

なお、訓練コース等の設定に当たっては、正社員就職のために資する内容とするよう配慮する。

【山口労働局、山口県、独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構】

(就職、正社員への転換支援)

支援対象者に対するマッチングイベント(企業の説明会、就職面接会、職場体験、職場見学、セミナー等)を開催(後援・共催を含む)する。

【山口労働局、山口県、中国経済産業局】

特定求職者雇用開発助成金(就職氷河期世代安定雇用実現コース)、キャリアアップ助成金等の企業支援策周知に努め、その活用による就職氷河期世代の正社員就職及び正社員転換を促進する。

【山口労働局】

就職氷河期世代を対象とした求人募集、正社員化を含む処遇改善、職場定着支援など受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)、マッチングイベント等への取組について、業界団体や企業等へ要請する。

【山口労働局、山口県】

企業における就職氷河期世代を対象とした求人募集、正社員化を含む処遇改善、職場定着支援など受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)等への取組を促進する。また、取組に必要な施策の提案を行う。

【山口県経営者協会、山口経済同友会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、山口県中小企業団体中央会】

就職氷河期世代を対象とした正社員化を含む処遇改善等に係る働きかけを行う。

【日本労働組合総連合会山口県連合会】

## (2) 長期にわたり無業の状態にある方

### 【目標】

就業を希望しながら、様々な事情により求職活動をしていない長期無業の状態にある方については、働くことや社会参加を促す中で本人に合った形で支援を行う必要があることから、地域若者サポートステーション(以下「サポステ」という。)を中心とし関係機関と連携した職業的自立支援につなげることを目標とする。

### 【KPI】

項目	KPI
サポステにより実施した相談件数(福祉機関等への出張相談や関係機関からの依頼を受けての相談を含む)	8,2754,500-件
サポステの支援により就職等 <sup>4</sup> につながった件数	607546-件
サポステと地域の関係機関との連携体制の強化	市町PF等への参画

### 【取組】

#### (相談体制の充実)

サポステの支援対象年齢を39歳までから49歳までに拡大するなど相談体制を整備する。

また、福祉関係機関等へ出張相談において支援対象者を把握するとともに、支援対象者個々人の状況に対応したきめ細かな職業的自立支援につなげる。

【山口労働局、山口県】

#### (就労に向けた支援)

支援対象者に対するカウンセリングや職場体験、各種セミナーの開催等により、職業意識やコミュニケーション能力の向上を図る。

【山口労働局、山口県】

長期にわたり無業の状態にある方に係る就職等支援など、受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)等への取組について、業界団体や企業等へ要請を行う。

【山口労働局、山口県】

---

<sup>4</sup> 就職等： 「雇用保険被保険者資格を取得し得る就職」、「雇用保険被保険者資格が取得できない就職だが、資格を取得し得る就職に向けてサポステの支援が継続される就職」及び「公的職業訓練の受講」を指す。

長期にわたり無業の状態にある方に係る就職等支援など、企業における受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)等の取組を推進する。また、それらの取組に必要な施策をやまぐち PF に提案する。

【山口県経営者協会、山口経済同友会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、山口県中小企業団体中央会】

働き方改革やワーク・ライフ・バランスの普及啓発等を通じ、多様な働き方の推進を図る。

【山口労働局、山口県】

(3) 社会参加に向けた支援を必要とする方(ひきこもりの方や生活困窮の方など)

【目標】

当事者やその家族の希望に応じ、市町における居場所の整備、その他対象者の状態に合わせた支援を行うための多様な取組を推進し、社会とのより太いつながりが生まれることを目標とする。

【KPI】

項目	KPI
就労準備支援事業実施福祉事務所	15 福祉事務所
ひきこもりの方等の相談窓口の整備	19 市町
ひきこもりの方等の相談窓口の明確化・周知	19 市町

【取組】

(ニーズの把握)

相談内容の分析などにより、社会参加に向けた支援を必要とする方のニーズを把握する。

【山口県、山口県社会福祉協議会】

(相談支援体制の充実)

社会参加に向けた支援を必要とする方やその家族が、お住まいの地域で容易に相談できる環境を整備するために、市町での相談窓口を明確化した上で、広報等により住民への周知を図る。

【山口県、山口県社会福祉協議会】

ひきこもり地域支援センターが、市町の窓口や関係機関に対する専門的なアドバイスを行うとともに、ひきこもり状態にある方やその家族への取組を支援する。

【山口県】

各市町福祉事務所が実施する生活困窮者就労準備支援事業の取組に関する助言、情報提供を行う。

【山口県】

(相談支援に係る人材の育成、資質向上)

自立相談支援機関の相談支援員の資質向上のための養成研修やひきこもり地域支援センターによる支援者向けの研修会などにより、支援に係る人材の育成、資質の向上を図る。

【山口県、山口県社会福祉協議会】

(職場体験・見学、就労に向けた支援)

社会参加に向けた支援を必要とする方に係る職場体験や職場実習等の機会確保及び受入れ後の職場定着支援などの受入体制整備について、業界団体や企業等へ要請を行う。

【山口労働局、山口県】

社会参加に向けた支援を必要とする方に係る職場体験や職場実習等の機会確保及び受入れ後の職場定着支援などの受入体制整備に係る取組を推進する。また、それらの取組に必要な施策をやまぐち PF に提案する。

【山口県経営者協会、山口経済同友会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、山口県中小企業団体中央会】

社会参加に向けた支援を必要とする方に係る受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)等への取組について働きかけを行う。

【日本労働組合総連合会山口県連合会】

#### (4) 全支援対象者共通の取組

##### 【KPI】

項—目	KPI
県内全市町での市町PFの設置	19-市町

##### 【取組】

市町レベルのプラットフォーム(以下「市町 PF」という。)を形成し、支援に係る関係者間の情報共有を行う。また、市町 PF の活動活性化のため、好事例の横展開などの積極的な協力を行う。

【山口労働局、山口県】

やまぐち PF の取組や活動等について、市町や各団体の構成企業・団体等に積極的に周知・啓発を行うことにより、社会全体で就職氷河期世代の活躍を支援する気運の醸成を図る。

【全構成員】

支援対象者一人ひとりに各種施策や社会全体で支援するというメッセージを積極的に届けるため、あらゆる手段(メディア、SNS、WEB、イベント開催等)を活用し、家族、関係者も含め効果的に伝わる周知・広報策を展開する。

【全構成員】

#### 6. やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォームと市町プラットフォームとの連携

やまぐちPFは、市町PFの効果的かつ円滑な運営のために、市町PFからの支援要請に対して適切に対応するとともに、好事例等の就職氷河期世代支援に関する情報についてはこれを共有し、双方緊密な連携を図ることとする。

#### 7. 地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業の実施【別表】



【別表】

山口県における地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業一覧

実施主体	事業名
山口県	山口しごとセンター管理運営費
山口県	地域若者サポートステーション機能強化事業
山口県	雇用のセーフティネット強化事業
山口県	女性デジタル人材育成事業
山口県	県外キャリア人材確保応援事業

【参考】

市町における地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業一覧

実施主体	事業名
宇部市	就職氷河期世代キャリアアップ支援事業

地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業一覧

実施主体	事業名
山口県	山口しごとセンター管理運営費
山口県	地域若者サポートステーション機能強化事業
山口県	就職・採用活動オンライン化緊急支援事業
下関市	就職氷河期世代等支援事業
宇部市	就職氷河期世代キャリアアップ支援事業



やまぐち就職氷河期世代活躍支援プランKPI進捗管理表の見直し

※3年間KPIに、3年間の実績（平均）を加え修正したもの。

①不安定な就労状態にある方

目標	KPI							
	項目	3年間KPI	3年間KPI達成率	実績			5年間KPI	
2020年度				2021年度	2022年度(12月末)	3年間平均		
正規雇用者数を2,040人増(第一ステージ) 正規雇用者数を4,000人増(第二ステージまでの累計)	●ハローワーク紹介による正社員就職件数	1,800 件	148.7%	892 件	1,065 件	720 件	972.3 件	3,745 件
	●キャリアアップ助成金活用による正社員転換数	700 人	131.0%	320 人	305 人	292 人	338.1 人	1,376 人
	●山口しごとセンター利用者における就職決定数	514 人	78.6%	161 人	134 人	109 人	146.8 人	808 人

②長期にわたり無業の状態にある方

目標	KPI							
	項目	3年間KPI	3年間KPI達成率	実績			5年間KPI	
2020年度				2021年度	2022年度(12月末)	3年間平均		
地域若者サポートステーションを中心に関係機関と連携した職業的自立支援につなげる	●サポステによる相談件数	4,500 件	113.8%	1,593 件	1,899 件	1,628 件	1,887.6 件	8,275 件
	●サポステの支援により就職等につながった件数※	546 件	54.2%	94 件	95 件	107 件	110.6 件	767 件 607 件
	●サポステと地域の関係機関との連携体制の強化	19 市町	100.0%	8 市町	11 市町	市町 目標達成のため、新たな設定は行わない。		

※目標新規登録者数520人×新規登録者の氷河期世代の割合38.9%×目標就職率60%×5年間=606.8人

目標新規登録者数520人（防府140人、周南140人、宇部120人、下関120人）、目標就職率60%以上（40歳代35%以上）

新規登録者の就職氷河期世代の割合38.9%（うち就職氷河期468人÷新規登録者数1,203人）

（うち氷河期152人+133人+（137人÷9月×12月）、新規登録者数314人+424人+（349人÷9月×12月））

③社会参加に向けた支援を必要とする方（ひきこもりの方や生活困窮の方など）

目標	KPI							
	項目	3年間KPI	3年間KPI達成率	実績			5年間KPI	
2020年度				2021年度	2022年度(12月末)	3年間平均		
市町に居場所の整備、対象者の状態に合わせた支援を行うための多様な取組を推進し、社会とのより太いつながりをつくる	●就労準備支援事業実施福祉事務所	15 箇所	66.7%	7 箇所	1 箇所	2 箇所	箇所	15 箇所
	●ひきこもりの方等の相談窓口の整備	19 市町	100.0%	11 市町	2 市町	6 市町	目標達成のため、新たな設定は行わない。	
	●ひきこもりの方等の相談窓口の明確化・周知							19 市町

④全支援対象者共通

目標	KPI						
	項目	3年間KPI	3年間KPI達成率	実績			5年間KPI
2020年度				2021年度	2022年度(12月末)	3年間平均	
就職氷河期世代の活躍を支援する気運の醸成を図る	●県内全市町での市町PFの設置	19 市町	100.0%	9 市町	10 市町	市町 目標達成のため、新たな設定は行わない。	



## 令和4年度「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラン」事業の実施状況

### 【ポイント】

○多くの項目で3年間KPI達成率がおおむね100%を超えており、順調に事業が進捗している。

○「サポステの支援により就職等※につながった件数」については、3年間KPI達成率が54.2%と低調な進捗状況となっている。

(令和4年12月現在)

(※「就職等」とは、「雇用保険被保険者資格を取得し得る就職」、「雇用保険被保険者資格が取得できない就職だが、資格を取得し得る就職に向けてサポステの支援が継続される就職」及び「公的職業訓練の受講」を指す。)



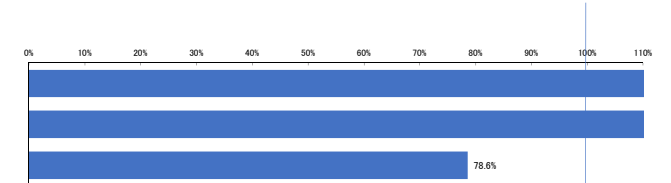
やまぐち就職氷河期世代活躍支援プランKPI進捗管理表

※2022年度12月末現在

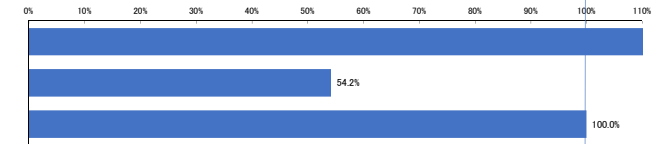
①不安定な就労状態にある方	目標	KPI					
	正規雇用者数を2,040人増	項目	3年間KPI	3年間KPI達成率	実績		
					2020年度	2021年度	2022年度
		●ハローワーク紹介による正社員就職件数	1,800 件	148.7%	892 件	1065 件	720 件
		●キャリアアップ助成金活用による正社員転換数	700 人	131.0%	320 人	305 人	292 人
		●山口しごとセンター利用者における就職決定数	514 人	78.6%	161 人	134 人	109 人

※山口しごとセンター利用者における就職決定数は正規雇用者の数。

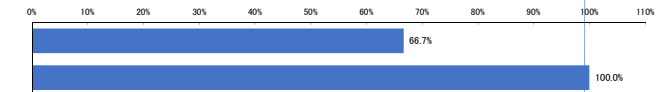
3年間KPI達成率



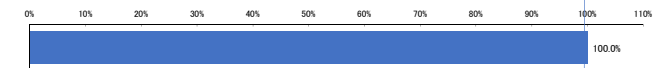
②長年にわたり無業の状態にある方	目標	KPI					
	地域若者サポートステーションを中心に関係機関と連携した職業的自立支援につなげる	項目	3年間KPI	3年間KPI達成率	実績		
					2020年度	2021年度	2022年度
		●サポステによる相談件数	4,500 件	113.8%	1,593 件	1,899 件	1,628 件
		●サポステの支援により就職等につながった件数	546 件	54.2%	94 件	95 件	107 件
		●サポステと地域の関係機関との連携体制の強化	19 市町	100.0%	8 市町	11 市町	市町



③社会参加に向けた支援を必要とする方(ひきこもりの方や生活困窮の方など)	目標	KPI					
	市町に居場所の整備、対象者の状態に合わせた支援を行うための多様な取組を推進し、社会とのより太いつながりをつくる	項目	3年間KPI	3年間KPI達成率	実績		
					2020年度	2021年度	2022年度
		●就労準備支援事業実施福祉事務所	15 箇所	66.7%	7 箇所	1 箇所	2 箇所
		●ひきこもりの方等の相談窓口の整備	19 市町	100.0%	11 市町	2 市町	6 市町



④全支援対象者共通	目標	KPI					
	就職氷河期世代の活躍を支援する気運の醸成を図る	項目	3年間KPI	3年間KPI達成率	実績		
					2020年度	2021年度	2022年度
		●県内全市町での市町PFの設置	19 市町	100.0%	9 市町	10 市町	市町







令和4年度「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム  
を活用した支援」(委託事業)の実施状況

## 【ポイント】

## 1 「セミナー・就職相談会」及び「企業説明会・面接会」の開催

## (1) 地域若者サポートステーションと連携したセミナー・相談会の開催

地域若者サポートステーション(以下「サポステ」という。)のある県内4か所で、就職氷河世代の方の社会参加や就業への意欲を高めるため、セミナー及びサポステやハローワークの就職相談会を開催した。

## (2) 企業説明会・面接会の開催

セミナー開催後、同一地域で企業説明会・面接会を開催した。

## (参加状況)

セミナー・相談会参加者数			企業説明会・面接会参加者数		
地域(開催日)	セミナー	相談会	地域(開催日)	説明会	面接会
周南(10/19)	9名	0名	柳井(10/26)	5名	4名
			下松(11/2)	2名	2名
			周南(11/8)	5名	4名
宇部(11/15)	13名	5名	※		
下関(11/29)	17名	1名	下関(12/6)	3名	0名
防府(1/6)	6名	1名	防府(1/13)	3名	0名
			山口(1/24)	10名	0名
合計	45名	7名	萩(8/24)	3名	0名
※ハローワーク宇部では、支援のための専門窓口を設置しており、定期的に面接会を開催している。			岩国(9/30)	13名	4名
			合計	44名	14名

## 2 リスティング広告やLINE広告による周知等

### (1) リスティング広告による「ぽかぽか未来実現サイト」への誘導

令和4年7月から「Google」を活用したリスティング広告を開始し、7月以降「ぽかぽか未来実現サイト」(ホームページ)の閲覧者が急増した。

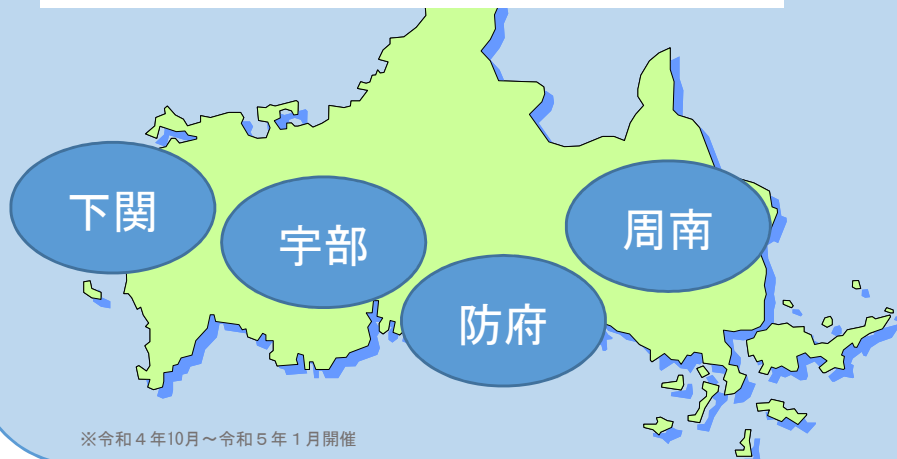
### (2) LINE広告によるイベント等の周知

セミナーや面接会の開催時期に合わせてLINE広告により「ぽかぽか未来実現サイト」のイベント案内ページへ誘導した。

また、ホームページからは、イベントへの参加を受付けており、1名の応募があった。

# 1 ① 地域若者サポートステーションと連携したセミナー・相談会の開催 ② 企業説明会・面接会の開催

## ① サポステのある県内4か所でセミナー・就職相談会を開催



参加者数  
セミナー：45名  
相談会：7名

今後の就職活動に「活かそう」、「やや活かそう」と回答した参加者数

45名中 32名

### 参加者の声

- “仕事”について真剣に考えられた。
- 自信のない自分の背中を押してもらえた気がする。
- 自分の考え方、軸を決める点は今後の就活で活かせる。

## ② 企業説明会・面接会の開催

参加企業数  
18企業

満足度「満足」、「やや満足」と回答した企業数

18企業中 9企業

※面接会への参加者の少なさが不満につながった。

医療・介護業：6企業  
製造業：5企業  
卸売・販売業：3企業  
その他  
土木建築業、警備業  
ホテル業、配送業

参加者数（延べ）  
説明会：55名  
面接会：16名

今後の就職活動に「活かそう」、「やや活かそう」と回答した参加者数

44名中 26名

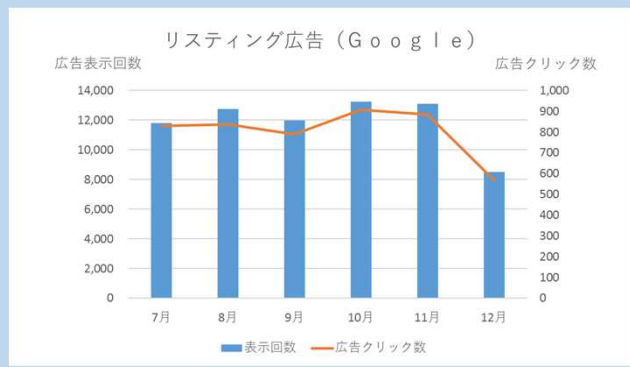
### 参加者の声

- 直接面接に行くよりも、クッションがあるのでありがたい。
- 説明会ということで気軽に参加しやすく、就職活動をする第1歩となった。
- 気になっていることが直接聞いてよかった。

※令和4年8月～令和5年1月開催

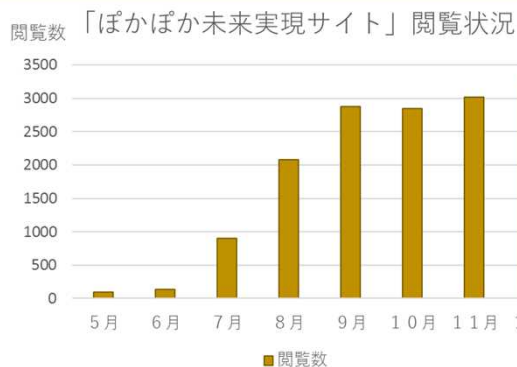
## 2 ①リスティング広告（Googleを利用）による「ぽかぽか未来実現サイト」への誘導 ②イベント開催時期にあわせたLINE広告を活用した周知

### ① リスティング広告（令和4年7月開始）



誘導

### ③ 「ぽかぽか未来実現サイト」（ホームページ）



### ② LINE広告（令和4年9月開始）



誘導



←就活応援動画

イベントの案内



●セミナー、企業説明会、面接会等  
イベントの周知



●ホームページで申込み受付



令和 4 年度山口県における「地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業」の実施状況

## 【ポイント】

(事業計画・実施状況)

○ 2022 年度における実施状況について（令和 4 年 12 月末時点）

## 山口しごとセンター管理運営費

○ 就職氷河期世代専任カウンセラーの配置及び専用窓口の設置により、対象世代の方の来所・相談を促し、個々の状況に応じたきめ細かな支援を実施

## 1 相談件数

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
相談件数	569 件	548 件	<u>363 件</u>

## 2 就職決定者数

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
就職決定者数 (正規雇用のみ)	161 人	134 人	<u>109 人</u>

## 地域若者サポートステーション機能強化事業

○ 地域若者サポートステーションと連携し、就職に向けて心理的な悩みを持つ無業者に対して、臨床心理士等の専門家によるきめ細かな相談支援を実施

## 1 相談件数

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
相談件数	2,140 件	2,567 件	<u>2,113 件</u>

## 2 就職決定者数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
就職決定者数 (非正規雇用を含む)	98人	90人	<u>109人</u>

### 雇用のセーフティネット強化事業

#### 1 「オンライン就労支援セミナー」の開催

- ・長期無業者等を対象に職業意識やコミュニケーション能力の向上を図る就労支援セミナーを開催し、「県内就労」や「社会参加」の促進を図る
- ・全6回のセミナーに加え、学び直しができるようにオンデマンド配信も実施
- ・受講に必要な機器・通信環境等を有していない場合は、受講を可能とするための機器等（タブレット端末、Wi-Fi ルーター等）の貸し出しを実施
- ・令和4年度は、セミナー参加者（実人数17名）のうち、就職決定者（非正規雇用を含む）3名 ※R3：セミナー参加者11名、うち就職決定者1名

日時	セミナーの内容	参加者数
R4. 9. 6	Zoomの効果的な使い方を学ぼう ～Zoomを正しく活用する方法～	11名 (アーカイブ2名)
R4. 9. 14	アサーション（自分の気持ちの伝え方） を身につけよう ～上手な自己表現のコツ～	11名 (アーカイブ2名)
R4. 9. 21	アンガーマネジメントで気持ちを整えよう ～怒りや悲しみなどのネガティブ感情の処理方法～	11名 (アーカイブ3名)
R4. 10. 17	自分の興味や強みを知ろう	16名 (アーカイブ3名)
R4. 10. 25	業界・職種を理解しよう	11名 (アーカイブ3名)
R4. 11. 8	アフターコロナ、あなたもITで変わる ～テレワークで社会参加はできる～	9名 (アーカイブ3名)

#### 2 個別相談支援の実施

- ・オンライン就労支援セミナーの参加者を支援対象者とし、個々のニーズに応じた伴走型のキャリア支援を定期的実施（17名のうち4名に対し、支援）

- ・相談方法については、支援対象者の希望する方法（対面、オンライン、SNS等）で実施

### 3 「氷河期世代の人材活用オンライン企業向けセミナー」の開催

- ・就職氷河期世代の積極的採用と活用によりビジネス展開をされている企業経営者の方を講師とし、「氷河期世代の活用方法」について学ぶ企業向けセミナーを開催することで、企業における就職氷河期世代の雇用を促進する
- ・全2回のセミナーに加え、学び直しができるようにオンデマンド配信も実施（前年度より1回増加） ※R3：参加企業数19社
- ・セミナー受講後のフォローアップとして、氷河期世代の雇用に関するコンサルティングを実施

日時	セミナーの内容	参加企業数
R4. 10. 21	アフターコロナの人材獲得術 ～本格的な人材不足時代への対応について～	13社
R4. 11. 11	「スシロー」の店長は何故100名以上のアルバイトたちを超戦力のチームに育て上げることができたのか？ ～常識破りのマネジメント！エンパワメントコーチングの極意を直伝！～	18社

### 4 ひきこもり理解促進セミナー

- ・令和4年度は新たに不安定な就労状態にある者や長期無業者向けのセミナーに加え、ひきこもり等の状態で支援を必要とする者向けのオンラインセミナーを実施
- ・支援を必要とする者を確実に相談窓口につなげられるよう、ひきこもりの現状と相談窓口を広く周知するためのセミナーを開催し、ひきこもり本人や家族等を支援窓口への誘導を図る

配信時期	セミナーの内容
R5. 3. 22	山口県における就職氷河期世代を取り巻く現状 地域若者サポートステーションでの支援について ひきこもり支援について

## 5 その他

### ○周知広報について

	就労支援セミナー	企業向けセミナー
①チラシ 配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町労働行政部局、ひきこもり所管部局</li> <li>・各市町社会福祉協議会</li> <li>・各ハローワーク</li> <li>・各地域若者サポートステーション</li> <li>・各保健所</li> <li>・各就労移行支援事業所</li> <li>・各自立支援相談支援機関</li> <li>・山口しごとセンター</li> <li>・<u>県内コンビニ（ファミリーマート、ローソン）及びスーパー（丸久、イオン）</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町労働行政部局、ひきこもり所管部局</li> </ul>
②HP 掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県労働政策課 HP</li> <li>・事業受託者（学校法人 YIC 学院）HP</li> <li>・やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォームを活用した支援事業の「ぽかぽか未来実現サイト」HP</li> </ul>	
③SNS 広告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県労働政策課 SNS（Instagram、Twitter、Facebook）</li> <li>・事業受託者（学校法人 YIC 学院）SNS（Twitter、Facebook）</li> </ul>	
④地域 情報誌 掲載	<u>地域情報新聞ほっぷ 県内3地域（山口市、下関市、周南市）</u>	-
⑤ラジオ 広告	<u>FM 県民ダイアリー（エフエム山口）</u>	-
⑥その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記者配布</li> <li>・<u>昨年度のセミナー参加者に DM</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記者配布</li> <li>・<u>県事業に興味関心の高い企業に DM</u></li> <li>・<u>昨年度のセミナー参加企業に DM</u></li> <li>・<u>やまぐち産業振興財団メールマガジンに掲載</u></li> </ul>

※ひきこもり理解促進セミナーについては、今後周知予定



## 地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業

2020年度事業		
事業名（実施主体）	事業計画	実施結果
山口しごとセンター管理運営費（山口県）	就職氷河期世代専任カウンセラーの配置及び専用窓口の設置により、対象世代の方の来所・相談を促し、個々の状況に応じたきめ細かな支援を実施する。	求職活動の進め方や、希望企業へのアプローチの仕方、職務経歴書・履歴書・添え状等の作成方法・添削、面接における留意点のアドバイス等を実施することで、就職氷河期世代の県内就職を促進した。
地域若者サポートステーション機能強化事業（山口県）	地域若者サポートステーションと連携し、就職に向けて心理的な悩みを持つ無業者に対して、臨床心理士等の専門家によるきめ細かな相談支援を実施するほか、セミナー等の実施により、コミュニケーション能力等の向上を図る。	就職氷河期世代へのきめ細かな支援を行うため、年間の心理カウンセリング回数及びセミナー回数を前年度より増やし、相談者の実情に応じて個別のかつ継続的な支援を実施した。
就職・採用活動オンライン化緊急支援事業（山口県） ※2020年度限りの単年度事業	WEB対面型キャリアカウンセリングシステムの導入により、不安定就労の方一人一人の状況に応じたキャリアカウンセリングを実施するほか、就職支援サイトの機能強化により、正規雇用化と県内就職を促進する。	WEB対面型キャリアカウンセリングシステムを整備し、令和2年8月1日から同システムを使用したカウンセリングを開始した。また、就職支援サイト(山口しごとセンターホームページ)を改修し、令和3年3月31日に公開した。
就職氷河期世代等支援事業（下関市）	就職氷河期世代の積極的な活用を促す企業向けセミナーの実施により企業参加を募り、市内中小企業の参加による合同就職説明会を実施する。	以下のセミナー及び合同就職説明会を開催した。 ・NEWノーマル時代を生き抜く人事戦略セミナー～就職氷河期世代等の人材活用術～（企業向け、10月27日） ・就勝支援セミナー～自分を知って就活に勝つ！～（求職者向け、11月7日、13日、20日、21日） ・しものせき就勝フェス2020（11月27日、28日）等
就職氷河期世代キャリアアップ支援事業（宇部市）	正規雇用化に向け必要となる知識や技能の習得などの能力開発及び正社員採用に積極的な企業や未経験者の採用を行う企業、就職世代の採用に前向きな企業等との座談会・ガイダンスを実施する。	正規雇用を希望する就職氷河期世代の求職者等を対象に「UBEキャリアアッププログラム」を実施した。（スキルアップ研修、企業見学会、就職活動支援等）

## 地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業

2021年度事業		
事業名（実施主体）	事業計画	実施結果
山口しごとセンター管理運営費 (山口県)	就職氷河期世代専任カウンセラーの配置及び専用窓口の設置により、対象世代の方の来所・相談を促し、個々の状況に応じたきめ細かな支援を実施する。	求職活動の進め方や、希望企業へのアプローチの仕方、職務経歴書・履歴書・添え状等の作成方法・添削、面接における留意点のアドバイス等を実施することで、就職氷河期世代の県内就職を促進した。
地域若者サポートステーション機能強化事業（山口県）	地域若者サポートステーションと連携し、就職に向けて心理的な悩みを持つ無業者に対して、臨床心理士等の専門家によるきめ細かな相談支援を実施し、コミュニケーション能力等の向上を図る。	就職氷河期世代へのきめ細かな支援を行うため、前年度と同様に、年間の心理カウンセリング回数及びセミナー回数を例年より増やし、相談者の実情に応じて個別かつ継続的な支援を実施した。
雇用のセーフティネット強化事業(就職氷河期世代活躍支援) (山口県) ※2021年度からの新規事業	長期にわたり無業の状態にある方等を対象にオンライン形式のセミナーを開催することで、職業意識やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、利用者一人一人のニーズに応じた個別相談を実施する。 また、企業採用担当者向けセミナーの開催により、雇用の受入れ先開拓を図る。	以下のオンラインセミナーを開催した。 ・不安を解消して一歩前へ踏み出すオンライン就労支援セミナー（求職者向け、9月17日、29日、10月8日、18日、11月2日） ・氷河期世代の人材活用オンライン企業セミナー「持続可能な企業を支える就職氷河期世代」（企業向け、11月4日） また、セミナー受講者を対象とした個別相談を実施し、就労に向けた支援を行った。
就職氷河期世代等支援事業 (下関市)	就職氷河期世代の積極的な活用を促す企業向けセミナーの実施により企業参加を募り、市内中小企業の参加による合同就職説明会を実施する。 また、求職者個々の状況を踏まえて、就業への全般的なスキルアップを図るプログラムを実施する。	以下のセミナー及び合同就職説明会を開催した。 ・就職氷河期世代の雇用セミナー（企業向け、9月13日、10月22日） ・ビジネススキルアップセミナー（求職者向け、9月、10月、12月） ・しものせき再チャレンジ応援就職説明会（求職者向け、12月15日）等
就職氷河期世代キャリアアップ支援事業（宇部市）	正規雇用化に向け必要となる知識や技能の習得などの能力開発及び正社員採用に積極的な企業や未経験者の採用を行う企業、就職世代の採用に前向きな企業等との座談会・ガイダンスを実施する。	正規雇用を希望する就職氷河期世代の求職者等を対象に「キャリアアップ就職プログラム」を実施した。 (就職対策講座、スキルアップ講座、求職者向けセミナー等)

## 地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業

2022年度事業		
事業名（実施主体）	事業計画	実施結果(予定)
山口しごとセンター管理運営費 (山口県)	就職氷河期世代専任カウンセラーの配置及び専用窓口の設置により、対象世代の方の来所・相談を促し、個々の状況に応じたきめ細かな支援を実施する。	求職活動の進め方や、希望企業へのアプローチの仕方、職務経歴書・履歴書・添え状等の作成方法・添削、面接における留意点のアドバイス等を実施することで、就職氷河期世代の県内就職を促進した。
地域若者サポートステーション機能強化事業（山口県）	地域若者サポートステーションと連携し、就職に向けて心理的な悩みを持つ無業者に対して、臨床心理士等の専門家によるきめ細かな相談支援を実施し、コミュニケーション能力等の向上を図る。	就職氷河期世代へのきめ細かな支援を行うため、前年度と同様に、年間の心理カウンセリング回数及びセミナー回数を例年より増やし、相談者の実情に応じて個別のかつ継続的な支援を実施した。
雇用のセーフティネット強化事業（就職氷河期世代活躍支援） (山口県)	長期にわたり無業の状態にある方等を対象にオンライン形式のセミナーを開催することで、職業意識やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、利用者一人一人のニーズに応じた個別相談を実施する。 また、企業採用担当者向けセミナーの開催により、雇用の受入れ先開拓を図る。 上記に加えて、ひきこもりの理解促進に向けたセミナーをオンデマンド形式で実施し、ひきこもりの現状やひきこもり支援相談窓口、就労支援機関を広く周知することで、ひきこもり状態にある者等の段階に応じた支援窓口へ誘導する。	以下のオンラインセミナーを開催した。 ・不安を解消して一歩前へ踏み出すオンライン就労支援セミナー（求職者向け、9月6日、14日、21日、10月17日、25日、11月8日） ・氷河期世代の人材活用オンライン企業セミナー（企業向け、10月21日、11月11日） また、セミナー受講者を対象とした個別相談を実施し、就労に向けた支援を行った。 ・ひきこもりの理解促進に向けたセミナーを3月22日開催する。
就職氷河期世代等支援事業 (下関市)	就職氷河期世代の積極的な活用を促す企業向けセミナーの実施により企業参加を募り、市内中小企業の参加による合同就職説明会を実施する。 また、求職者個々の状況を踏まえて、就業への全般的なスキルアップを図るプログラムを実施する。	以下のセミナー及び企業説明会を開催した。 ・企業向けセミナー（氷河期世代の雇用セミナー 9月28日）（人材確保・採用力アップ雇用セミナー 2月2日） ・ビジネススキルアップセミナー（求職者向け＜PCスキルアップ＞ 8月、9月、10月、12月） ※セミナー参加者の事後フォロー及び企業説明会の案内 ・しものせきミニ企業説明会（求職者向け 3～5社程度 2月15・22・24日）
就職氷河期世代キャリアアップ支援事業（宇部市）	正規雇用化に向け必要となる知識や技能の習得などの能力開発及び正社員採用に積極的な企業や未経験者の採用を行う企業、就職世代の採用に前向きな企業等との座談会・ガイダンスを実施する。	正規雇用を希望する就職氷河期世代の非正規雇用、無業者の方等を対象に「キャリアアッププログラム」を実施した。 (就職対策講座、スキルアップ講座、求職者向けセミナー、企業見学会、企業ガイダンス、事業者向けセミナー、キャリアカウンセリング、個別の就職活動支援を実施)

※令和4年12月末現在



令和5年度「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム  
を活用した支援」（委託事業）の実施状況

【ポイント】

○就職氷河期世代への雇用支援

就職氷河期世代の方の就職を促進するため、県内8カ所で、ファシリテーターを配置したワークショップ型のセミナーを開催するとともに、相談ブースを設置した企業説明会及び就職面接会を開催します。

また、参加企業については、就職氷河期世代職場実習・体験の受け入れを検討するなど、氷河期世代の雇い入れに積極的な企業とする予定です。

○各種事業の周知及び気運の醸成にかかる広報

「ぽかぽか未来実現サイト」（ホームページ）のコンセプトを継続したホームページの運営を行います。

また、リスティング広告、ディスプレイ広告やSNS広告を利用して、ターゲットを絞った事業の周知、広報を行います。



令和5年度「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム  
を活用した支援」(委託事業)の実施内容(予定)

項目	実施内容・実施趣旨
<p>I 企業説明会や就職説明会の開催等、地域の実情に応じた就職氷河期世代への雇用支援</p>	<p>山口県内の就職氷河期世代の方々の就職を促進するため、以下の取組を実施する。</p> <p>○ <u>就職氷河期世代向けセミナー、企業説明会及び就職面接会</u>          就職氷河期世代専門窓口を持たないハローワーク(県内8か所)において、就職氷河期世代を対象とした、就職面接会を開催する。          就職面接会の開催にあたっては、事前にセミナーを開催し、企業説明会及び就職面接会を開催する。また、セミナー、企業説明会及び就職面接会は別日に開催して差し支えないが、それぞれ、就職氷河期世代専門窓口を持たないハローワークにおいて開催すること。          セミナーは、ファシリテーターを配置の上、できる限りワークショップ型セミナーとし、参加者を企業説明会及び就職面接会もしくは相談ブースに誘導するものとする。          企業説明会及び就職面接会においては、ハローワークやサポステ等の相談ブースを設置し、職業相談を行うとともに、就職に不安を抱える者に対する職場実習・体験(インターンシップ)を案内するなど適切な対応を行うこと。          セミナーを企業説明会及び就職面接会と別日に開催する場合は、セミナー会場に相談ブースを設置すること。          企業説明会及び就職面接会に参加する企業は、就職氷河期世代職場実習・体験インターンシップ受入条件票を提出している企業など、就職氷河期世代の受け入れに積極的な企業とする。          開催日時、場所及び参加企業は、訓練室やハローワークと協議し決定すること。なお、ハローワーク山口では所外の会場において開催することとなる。          目標は、1回あたり参加者6名以上、2企業～3企業とする。          新型コロナウイルス感染症などの感染防止対策を徹底した上で開催し、感染状況によってはWEB等による開催について検討すること。</p>
<p>II 就職氷河期世代支援に係る各種事業の周知及び気運の醸成に係る広報</p>	<p>1 <u>専用ホームページの運用</u>          各事業を実施するための効果的な周知・広報を実現するため、令和4年度に実施した「ぼかぼか未来実現サイト」のコンセプトを継続したホームページの運営を行う。</p> <p>2 <u>インターネット等を活用した周知・広報の実施</u>          リスティング広告、ディスプレイ広告やSNS広告を利用し、ターゲットを絞った周知、広報を行う。          また、活用する検索エンジンやSNSは広く一般的に利用されてるものとし、事前にクリック数の目標などを定め実施すること。          なお、効果的に各種イベントに誘導すること(リターゲティング広告の実施など)。</p>
<p>III I～IIIの他、都道府県プラットフォームにおいて企画・立案した地域の実情に応じた事業</p>	<p>○ <u>職場実習等の受入企業開拓</u>          就職氷河期世代向け企業説明会及び就職面接会に参加する企業を職場実習等の受け入れ企業として開拓すること。</p>





令和5年度山口県における「地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業」の計画について

【ポイント】

○2023年度事業計画（予定）

2022年度の取組に加えて、以下の取組を実施する予定。

**女性デジタル人材育成事業**

《目的》

未就業等の女性を対象に、プログラミング等の専門スキルを習得する実践的なデジタル人材養成講座やインターンシップ等を実施し、県内企業と連携して女性の就業や待遇改善を一体的に支援する。

《事業内容》

企業や大学等と新たに設置するコンソーシアムにおいて、人材ニーズに沿った講座内容等の検討や女性の就業環境の整備を進め、「やまぐち女性デジタルキャリアセンター（仮）」において女性のスキルアップから就業までをトータルでサポートし、高待遇による就業を実現することにより、県内で働く女性の待遇改善につなげる。

**県外キャリア人材確保応援事業**

《目的》

県内企業の人手不足が深刻化していることから、県内企業の県外からの人材確保を強化するため、キャリア採用に取り組む企業を新たに支援する。

《事業内容》

企業に対し、転職者の採用・定着に係るノウハウを習得できるセミナーを実施するとともに、転職フェアへの出展支援や転職サイトへの掲載料支援により、求職者と企業の出会いを促進する。

加えて、参加者への交通費等の補助により、インターンシップへの参加を促進し、転職時のミスマッチを低減させる。



## 令和5・6年度地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業(予定)

2023年度事業		
事業名 (実施主体)	事業計画	実施結果
山口しごとセンター管理運営費 (山口県)	就職氷河期世代専任カウンセラーの配置及び専用窓口の設置により、対象世代の方の来所・相談を促し、個々の状況に応じたきめ細かな支援を実施する。	
地域若者サポートステーション機能強化事業 (山口県)	地域若者サポートステーションと連携し、就職に向けて心理的な悩みを持つ無業者に対して、臨床心理士等の専門家によるきめ細かな相談支援を実施し、コミュニケーション能力等の向上を図る。	
雇用のセーフティネット強化事業 (就職氷河期世代活躍支援) (山口県)	長期にわたり無業の状態にある方等を対象にオンライン形式のセミナーを開催することで、職業意識やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、利用者一人一人のニーズに応じた個別相談を実施する。 また、企業採用担当者向けセミナーの開催により、雇用の受入れ先開拓を図る。	
【新規】 女性デジタル人材育成事業 (山口県)	未就業等の女性に対し、プログラミング等の専門スキルを習得する講座やインターンシップ等を実施し、県内企業と連携して女性の就業や待遇改善を支援する。	
【新規】 県外キャリア人材確保応援事業 (山口県)	県外からの転職者の採用を希望する企業に対し、氷河期世代の特性など採用・定着に係るノウハウを習得できるセミナーを実施するとともに、転職フェアへの出展支援や転職サイトへの掲載料支援により、求職者と企業の出会いを促進する。 加えて、インターンシップ参加者への交通費・宿泊費の補助により、インターンシップへの参加を促進し、転職時のミスマッチを低減する。	

令和5・6年度地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業(予定)

2024年度事業		
事業名 (実施主体)	事業計画	実施結果
山口しごとセンター管理運営費 (山口県)	就職氷河期世代専任カウンセラーの配置及び専用窓口の設置により、対象世代の方の来所・相談を促し、個々の状況に応じたきめ細かな支援を実施する。	
地域若者サポートステーション機能強化事業 (山口県)	地域若者サポートステーションと連携し、就職に向けて心理的な悩みを持つ無業者に対して、臨床心理士等の専門家によるきめ細かな相談支援を実施し、コミュニケーション能力等の向上を図る。	
雇用のセーフティネット強化事業 (就職氷河期世代活躍支援) (山口県)	長期にわたり無業の状態にある方等を対象にオンライン形式のセミナーを開催することで、職業意識やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、利用者一人一人のニーズに応じた個別相談を実施する。 また、企業採用担当者向けセミナーの開催により、雇用の受入れ先開拓を図る。	
女性デジタル人材育成事業 (山口県)	未就業等の女性に対し、プログラミング等の専門スキルを習得する講座やインターンシップ等を実施し、県内企業と連携して女性の就業や待遇改善を支援する。	
県外キャリア人材確保応援事業 (山口県)	県外からの転職者の採用を希望する企業に対し、氷河期世代の特性など採用・定着に係るノウハウを習得できるセミナーを実施するとともに、転職フェアへの出展支援や転職サイトへの掲載料支援により、求職者と企業の出会いを促進する。 加えて、インターンシップ参加者への交通費・宿泊費の補助により、インターンシップへの参加を促進し、転職時のミスマッチを低減する。	

## 令和4年度 ほうふ若者サポートステーション事業 40歳代の取組み報告

### 1. 実績状況と40歳代の傾向

別紙「ほうふ若者サポートステーションの実績状況【令和4年4-12月】」参照

<40歳代の実績>

- ・利用登録 39名（全登録者のうち35%を占める）
- ・就職実績 30名（全登録者のうち32%を占める）

<40歳代の相談> インテーク面談から抜粋

- ・自分に向いている仕事分からない（これまで自分よりも家族を優先して働いてきた）
- ・子供の手が離れて自分がやりたい仕事を探したい
- ・転職を繰り返したため最後の転職活動にしたい
- ・やりたい仕事が無い or やりたい仕事が多い
- ・人間関係で苦労した

※一見すると自己就活が出来るタイプだが、相談内容は多岐にわたり傾聴しながらサポートが必要。

### 2. セミナーから見る40歳代の傾向

- ・セミナーの参加率は低い
- ・マンツーマン支援を好む
- ・ボランティア等は人気

<40歳代にセミナーを案内した際の主な感想>

- ・出来ない・・・自信が無い・・・人と比べてしまう・・・
- ・今さら必要ない
- ・新しいことに取組むのは苦手、面倒

※R2年は上記のタイプが多かったが3年間でCLの傾向に変化が生じている。

<40歳代の参加が少ないセミナー>

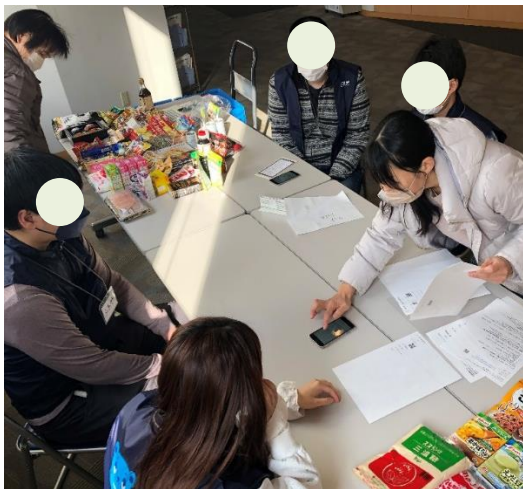
- 仕事に活かせる動画作成セミナー
- 職場の人間関係力向上などコミュニケーションに関するセミナー
- オンラインで参加する「初めてのオンライン就活」「オンラインビジネスマナー」

※オンラインや動画・SNS利用は抵抗感が強い。

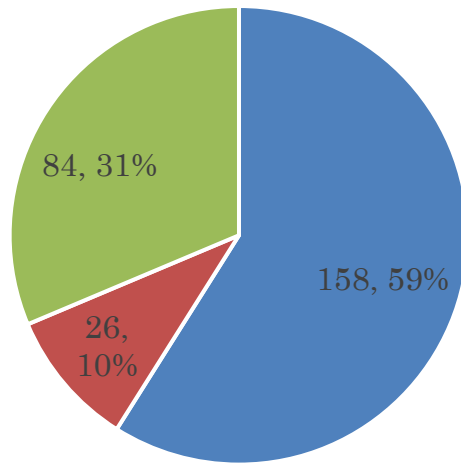


<40 歳代も参加者が多いセミナー>

- ボランティア体験が含まれるセミナー「フードバンク」、「お寺で法話」
- 即役立つ就活セミナー「職業訓説明会」、「面接で相手に伝わる話し方」
- 給与明細の見方

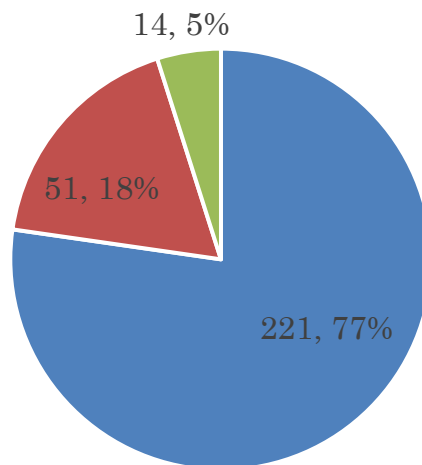


セミナー参加者数（R4年4-12月）



■ 15歳～34歳 ■ 35歳～39歳 ■ 40歳～49歳

セミナー参加者数（R2年4-3月）



■ 15歳～34歳 ■ 35歳～39歳 ■ 40歳～49歳

※R2年から3年後はセミナー参加者数と参加率が著しく増加

### 3. 広報活動の特徴

Line 広告



Smart Channel

LINE NEWS

タイムライン

個別の折り込み広告

**見つけよう! あなたの「みらい」**

厚生労働省 山口県委託事業 **適職診断** 予約制

対象 / 現在無職で就職活動中の49歳以下の方

<b>ルルサス防府2F 会議室</b>  <b>7/20(木)・8/10(木)</b> ①10:00~ ②10:30~ ③11:00~ ④11:30~	<b>山口市民活動支援センター ざぼらんて</b>  <b>7/28(木)</b> ①10:00~ ②11:00~ ③11:30~	<b>ハローワーク山口</b>  <b>8/4(木)</b> ①10:00~ ②10:30~ ③11:00~ ④11:30~
---	---	--

/ 好評につき、お早目にお申込みください / 個人情報厳守

換気・消毒・飛沫対策を行い  
予約制で受付

運営/NPO法人コミュニティ友志会  
**ほうふ若者サポートステーション**  
TEL.0835-28-3808  
防府市栄町1丁目1-17  
火~土 9:30~17:30(日・月・祝休館)  
感染拡大防止の為、延期になる場合がございます

WEB申し込みは  
こちらから!

### 4. コロナ禍における、登録者・就職決定者を増やすための取組み

- ハローワークとの連携強化（ケース会議、連携支援、同行訪問など）
- ハローワーク職員向けサポステ事業説明会の開催（R4年度防府、R3年度山口）
- 「発達障害者雇用トータルサポータ」や専門援助部門と連携し事例相談などを実施（山口・防府・萩）

以上